

PROGRAM

♪フランク
「チェロソナタ イ長調」
♪フォーレ
「ピアノ五重奏第2番 ハ短調」 他

theEG

ブラックリバー弦楽四重奏団
Cello 渡部玄一



チェリスト 渡部玄一の世界

もう一つの大きな河～フランス音楽の精華

2025. 2/28 《Fri.》

OPEN 18:15 — START 19:00

紀尾井ホール | 一般 5,000 円 (全席自由)



Piano 鈴木 慎崇

ブラックリバー
弦楽四重奏団



Violin 赤池 瑞枝



Violin 對馬 哲男



Viola 正田 響子

プレイガイド

【郵送】

トウキョウ・アンサンブル・ギルド
Mail : concert@tokyo-eg.com / Tel&Fax : 0422-38-8096
エイチエム・プランニング (早川)
Mail : teghmp@gmail.com

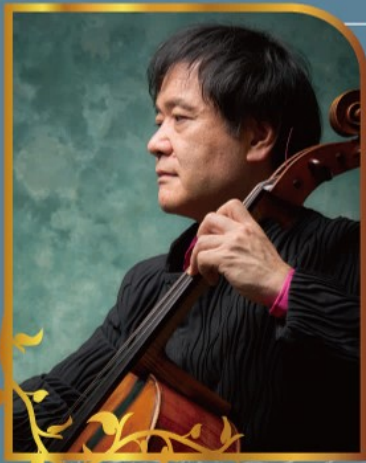
①お名前 ②電話番号 ③チケット枚数 ④ご住所
を上記いずれかの連絡先までご連絡ください。



←トウキョウ・アンサンブル・ギルド申込フォーム
お申込み受付後、チケットをご郵送いたします。
チケットが届きましたら、指定銀行口座まで
お振込みをお願い申し上げます。

【インターネット】

イープラス <https://eplus.jp/>



• Cello 渡部玄一（わたなべ・げんいち）

東京藝術大学附属高校を経て、桐朋学園大学及び同校研究科卒。ジュリアード音楽院卒。インディアナ大学でさらに研さんを積み、帰国。以来、NHK-BS、NHK-FM 出演をはじめ、ソロ・室内楽・オーケストラ奏者として幅広く活躍。2003年文化庁海外派遣員としてドイツにて研修。2008年東京アンサンブルギルド設立。ストーリー・コンサートという新しいコンサートスタイルを生み出し、注目を集めている。2014年に自身がホストを務める音楽番組「音の教養」が放送スタートし、同番組コンサートも開催。CD「It's Peaceful Here ここは良きところ」リリース。著作に『知的生活の方法—音楽編』（共著、ワック出版）、『ワタナベ家のちょっと過剰な人びと』『明朝であれ 父、渡部昇一が遺した教え』（海竜社出版）などがある。現在、読売日本交響楽団団員、及びフェリス女学院講師。



Piano 鈴木慎崇（すずき・よしたか）



札幌市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールにて、それぞれ第1位。ソリストとしてさまざまなオーケストラと共演。室内楽の分野においてリサイタル、FM、CD、配信などで数多くの演奏家と共演。国内外の音楽祭、コンクールなどで公式伴奏者をつとめ、高い評価と信頼を得ている。オーケストラの演奏会にて鍵盤楽器奏者として度々出演、好評を博す。アンサンブルピアニストとしての活動は多岐に渡り、東京混声合唱団とも数多く共演している。武蔵野音楽大学、東京藝術大学非常勤講師を務めたのち、現在洗足学園音楽大学非常勤講師として、後進の指導にあっている。



• Violin 赤池瑞枝（あかいけ・みづえ）

東京芸術大学音楽学部器楽科を経て同大学院修士課程修了。在学中、東京芸術大学オーケストラと共演。第1回東京室内楽コンクール第3位入賞。第6回日本室内楽コンクール入賞。1999年、2008年リサイタルを開催。これまでに鈴木鎮一、森ゆう子、浦川宜也、矢嶋佳子の各氏に師事。室内楽奏者、オーケストラ奏者として活動している。現在、読売日本交響楽団団員。



• Violin 對馬哲男（つしま・てつお）

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、同大学音楽研究科修士課程修了。三菱地所賞、アカンサス音楽賞受賞。読売新人演奏会、藝大室内楽定期演奏会、JTが育てるアンサンブルシリーズ等に出演。第22回かながわ音楽コンクール最優秀賞、神奈川県知事賞受賞。第60回全日本学生音楽コンクール全国大会第一位。第23回リゾナーレ室内楽セミナー 優秀賞。現在読売日本交響楽団次席第1ヴァイオリン奏者。



• Viola 正田響子（しょうだ・きょうこ）

1994年神奈川県横浜市出身。桐朋女子高等学校（男女共学）を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業。18歳より佐々木亮氏に師事、ヴィオラの指導を受ける。2013年ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。翌14年にザルツブルクのミラベル宮殿にて演奏。別府アルゲリッチ音楽祭、小澤征爾音楽塾などに参加。大学在学時にオーディションを受け、2017年より読売日本交響楽団ヴィオラ奏者。現在はオーケストラの他、室内楽など様々な分野に活動の幅を広げている。

《ブラックリバー弦楽四重奏団》

ブラックリバー弦楽四重奏団は2020年に結成された読売日本交響楽団の楽員で構成された弦楽四重奏団です。メンバーは幅広い世代にまたがっていますが、日々同じ楽団でアンサンブルを磨き、共に芸術的理想を抱くメンバーでもあります。ブラックリバーという命名は、読売日本交響楽団の練習場がある「黒川」という地名に由るものです。